

政策オリンピック成果報告書

岐阜県地域住民参加型訓練（季節に応じた住民参加型防災訓練）促進事業費補助金



岐阜県危機管理部 防災課 令和8年3月

目次

01	政策オリンピックの概要	…	3
02	審査会	…	4
03	採択された団体	…	6
04	成果報告会	…	7
05	採択団体の訓練概要	…	8
06	防災訓練のポイント【全体総括】	…	4 4



政策オリンピック（季節に応じた住民参加型防災訓練）の概要

募集期間

令和7年4月1日～5月30日
令和7年8月21日～9月30日
（優良事業分）

募集対象

岐阜県内の**市町村**又は**自治会**

補助上限

【入選事業分】
2,000千円 補助率 10/10

【優良事業分】
1,000千円
補助率2/3、3/5、1/2



楽しく参加できる防災訓練

実施要件

下記要件をすべて満たす事業

- ア 住民が**楽しく**参加できる防災訓練であること
- イ 季節の特色を踏まえた内容とし、1回以上実施するものであること
- ウ **子ども**と**高齢者**を含み、多くの住民が参加するものであること
- エ 市町村と自治会が連携したものであること



多くの住民が
楽しく
参加できる



地域の交流や
ネットワークの
構築



地域の
防災力向上

審査会（当日の様子）

本審査

- ・ 36件の提案を**中・高・大学生と有識者**による審査によって絞り込んだ。
(中学生3名・高校生2名・大学生1名、有識者4名)

小学生による審査

- ・ 本審査で絞り込んだ提案を、小学生が**金賞、銀賞、銅賞**を決定した。
(小学生77名)

令和7年6月15日（日）本審査




令和7年6月16日（月）小学生審査



審査会（審査結果）

 **金賞 御嵩町** 

 **銀賞 竹鼻町自治会（羽島市）**

 **銀賞 神坂まちづくり協議会（中津川市）**

 **銅賞 大八まちづくり協議会（高山市）**

 **華陽自治会連合会（岐阜市）**

 **地縁法人上村区（下呂市）**



採択された団体の一覧

補助率 10/10

- 金・御嵩町
- 銀・竹鼻町自治会
- 銀・神坂まちづくり協議会
- 銅・大八まちづくり協議会
- ・華陽自治会連合会
- ・地縁法人上村区

補助率 2/3

- ・中野方地域協議会
- ・金華自治会連合会
- ・本荘自治会連合会
- ・小熊町新生町自治委員会

補助率 3/5

- ・関市
- ・神戸町末守自治会
- ・今渡自治連合会

補助率 1/2

- ・美濃市
- ・岩野田自治会連合会
- ・柳津町自治会連合会宮上ブロック
- ・河田町自治会連合会
- ・八木山まちづくり協議会
- ・山県市
- ・西村区自治会
- ・大垣市御殿町自治会
- ・大垣市
- ・落合まちづくり推進協議会
- ・笠郷地域創生自治町民会議



成果報告会

令和8年3月6日（金）

- ・ 上位6団体による成果報告と、意見交換を実施した。
- ・ 事業を通して得た気づきや苦労した点、改善点が明確になった。

知事の総括コメント

- ・ 防災において、子供たちは大事なプレイヤーであり、子供たち自身に考えてもらうのが大事である。
- ・ 住民同士の顔が見える関係を構築することが大切である。
- ・ 「楽しいから続く、続くから強くなる」



採択団体の訓練概要



【御嵩町】事業費 868,967円



訓練のポイント

【事業名】

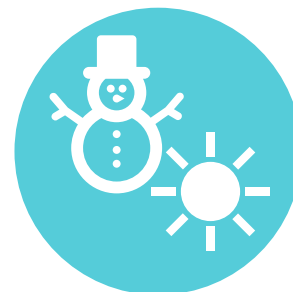
小中学生がプロデュース！！まるで縁日のような
自治会防災フェスタ

防災の地域クラブである「御嵩ぼうさい倶楽部」の子どもたちが、子ども目線でアイデアを出し、楽しいかつしっかりと防災が学べるイベントを実施した。



1. 楽しく参加できる

体験型イベントを多くすることで、楽しく防災について学べる（子どもたちがアイデアを出す）。



2. 季節の特色を踏まえる

冬をテーマに、ロケットストーブの作成を実施する。



3. 子どもと高齢者を含む多くの住民が参加

多種多様なイベントを用意し、老若男女問わず気軽に参加できるようにする。



4. 市町村と自治会の連携

自治会だけでは難しい事務処理等を町がサポートする。

採択団体の訓練概要 【御嵩町】



「自治会防災フェスタ」 令和7年10月12日（日）

- **参加者**

約230人（子ども59人、高齢者61人）

- **訓練の具体的内容（例）**

- ✓ **防災輪投げ**

懐中電灯や非常食等様々な防災グッズを景品にみたてて行う輪投げを行い、輪が入った防災グッズについて、御嵩ぼうさい倶楽部の中学生が、解説を行う。

- ✓ **防災非常食味くらべグランプリ**

防災食を種類・メーカー別に食べ比べて投票を実施し、最もおいしい防災食を決定する。

- ✓ **煙ハウスからの脱出**

煙で充満した部屋からの脱出を体験し、楽しく学ぶことができる。

採択団体の訓練概要 【御嵩町】



「自治会防災フェスタ」 令和7年11月30日（日）

- **参加者**

54人（子ども13人、高齢者22人）

- **訓練の具体的内容（例）**

- ✓ **箱の中身はなんだろう**

ダンボール箱の中に参加者に見えないように防災グッズを入れ、何が入っているかを当ててもらおう。

- ✓ **防災つりぼり**

ビニールプールにフェルトで作った防災グッズを入れ、釣り上げたものが何に使うものかを当てるゲーム。

- ✓ **ロケットストーブの作成**

冬の災害に備え、暖房器具を作成し電気や灯油が無くても熱源を確保する方法を学ぶ。 10

訓練写真【御嵩町】

防災輪投げ



防災非常食味くらべグランプリ



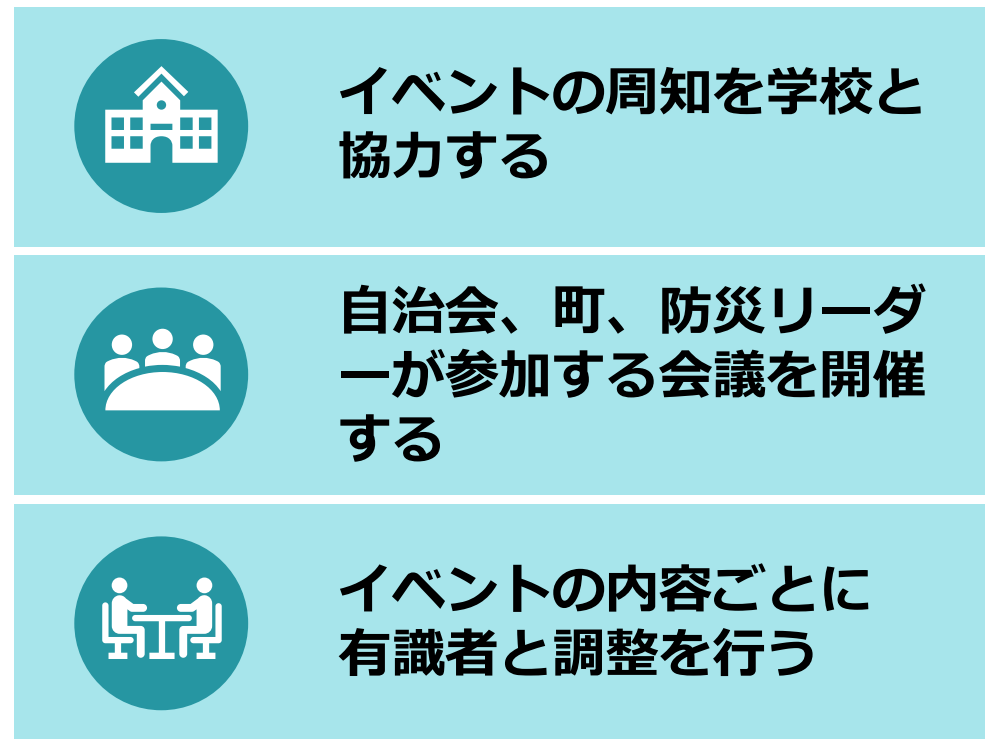
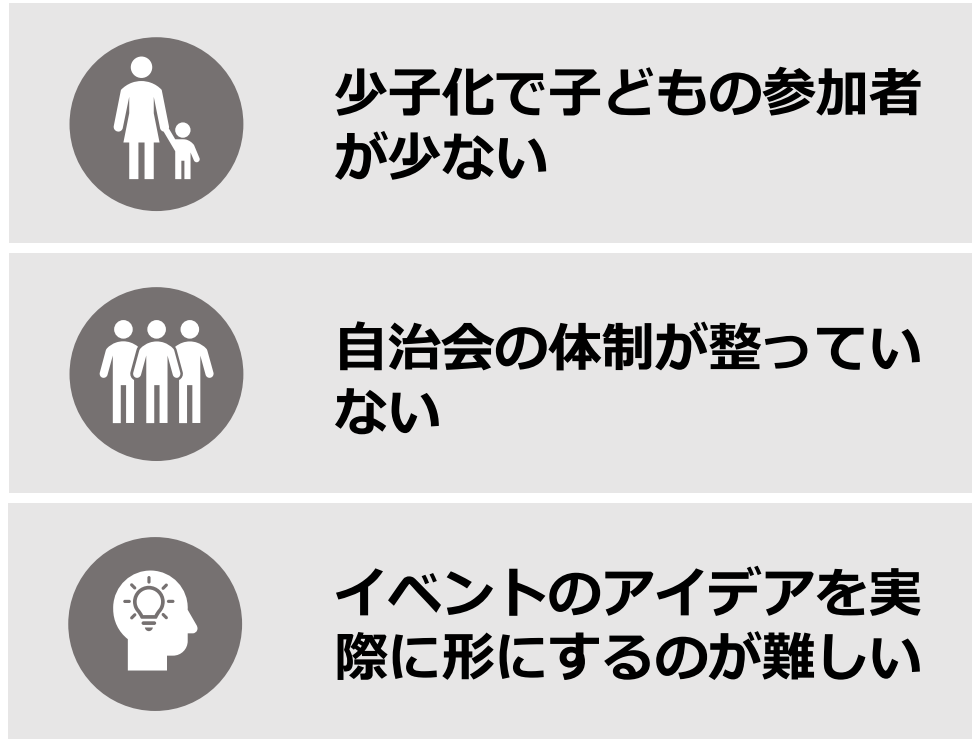
防災つりぼり



箱の中身はなんだろう



課題と解決方法 【御嵩町】



次年度以降の改善点

今年度は、県の補助事業であったため、開催規模も大きかったが、次年度以降はそれを自治会単位に落とし込み、自治会単位で継続的に実施できるようにノウハウを継承していくことが必要になる。



訓練のポイント

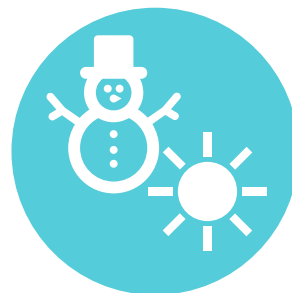
【事業名】
防災スポーツフェスティバル

従来のような「堅苦しい防災訓練」という印象を払拭し、“楽しさ”と“実用性”の両立を目指し、多くの住民に参加してもらえるようなイベントとして実施した。



1. 楽しく参加できる

すべての競技がゲーム感覚で楽しく参加できる。



2. 季節の特色を踏まえる

熱中症対策として、経口補水液を準備する。



3. 子どもと高齢者を含む多くの住民が参加

高齢者、親子などが一緒に参加できる競技を実施する。



4. 市町村と自治会の連携

準備や当日の運営はもとより、事前の会議にも市の職員が参加する。

採択団体の訓練概要 【竹鼻町自治会】



「防災スポーツフェスティバル」 令和7年9月28日（日）

- **参加者**

944人（子ども265人、高齢者323人）

- **訓練の具体的内容（例）**

- ✓ **親子水消火器あてゲーム**

消防団指導の下、親子で的を狙って消火器で放水する競技。

- ✓ **借り物競争**

消防団指導の下、子どもから高齢者の4人1組で2本の物干し竿と毛布で簡易担架を作り、引いたカードのものを担架で運ぶ競技。

- ✓ **バケツリレー**

水の代わりに、発砲スチロールの小球を使用し、目的地まで運ぶ速さを競う。

- ✓ **避難所ジェスチャーゲーム**

2人1組になり、1人がジェスチャーで必要なものをもう1人に伝える競技。

訓練写真【竹鼻町自治会】

親子水消火器あてゲーム



借り物競争



バケツリレー



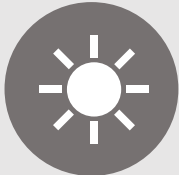
避難所ジェスチャーゲーム



課題と解決方法 【竹鼻町自治会】



区長が1～2年で交代するため、事業に対する理解が深まらない



9月末の開催だが、熱中症を懸念する声が多い



区長に対して、事前の会議で丁寧な説明を行う



経口補水液を準備するなど熱中症対策をしっかりと行う



次年度以降の改善点

- ・9月末の開催であったが、熱中症を懸念する声が多くあったため、開催時期の変更も検討していく必要がある。
- ・先行事例を調査研究し、新たな競技の導入についても検討を進める。

採択団体の訓練概要 **銀**【神坂まちづくり協議会】事業費1,983,074円



訓練のポイント

【事業名】

中山間地区のフィールドを活用した
楽しい防災キャンプ事業（寒冷期編）

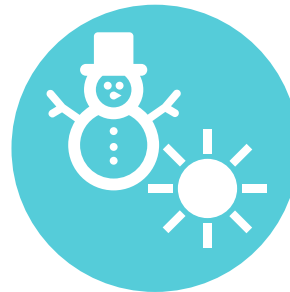
遊休農地を防災農園として活用し、間伐材を災害時の燃料の薪としたり、ジビエ肉を活用するなど、地域資源を活用した防災キャンプを実施することで、防災と地域の活性化を両立した。

1. 楽しく参加できる



薪割や野菜の収穫体験など、レジャーとしても楽しめる体験を盛り込む。

2. 季節の特色を踏まえる



寒冷期に実施することで、避難所での寒さ対策の重要性を理解する。

3. 子どもと高齢者を含む多くの住民が参加



地域の小中学生が楽しめる体験や、老人クラブの人が指導者になれるような体験を実施する。

4. 市町村と自治会の連携



自治会では準備が難しい防災資材を市から借りる。

採択団体の訓練概要 【神坂まちづくり協議会】

✓ 「楽しい防災キャンプ」 令和7年11月29日（土）、30日（日）

- **参加者**

180人（子ども47人、高齢者59人）

- **訓練の具体的内容（例）**

- ✓ **防災農園での野菜収穫**

遊休農地を防災農園として活用し、炊き出し用の野菜を収穫する。

- ✓ **薪割体験**

周辺の里山から間伐材を拾い、災害時の燃料として使用できるように薪にする。

- ✓ **ジビエ肉の調理**

地元で駆除した二ホンジカの肉を、炊き出し用の肉や、ジャーキーとして加工する。

- ✓ **炊き出し**

薪を燃料にご飯を炊き、大鍋でカレーを作る。

訓練写真 【神坂まちづくり協議会】

防災農園での野菜収穫



薪割体験



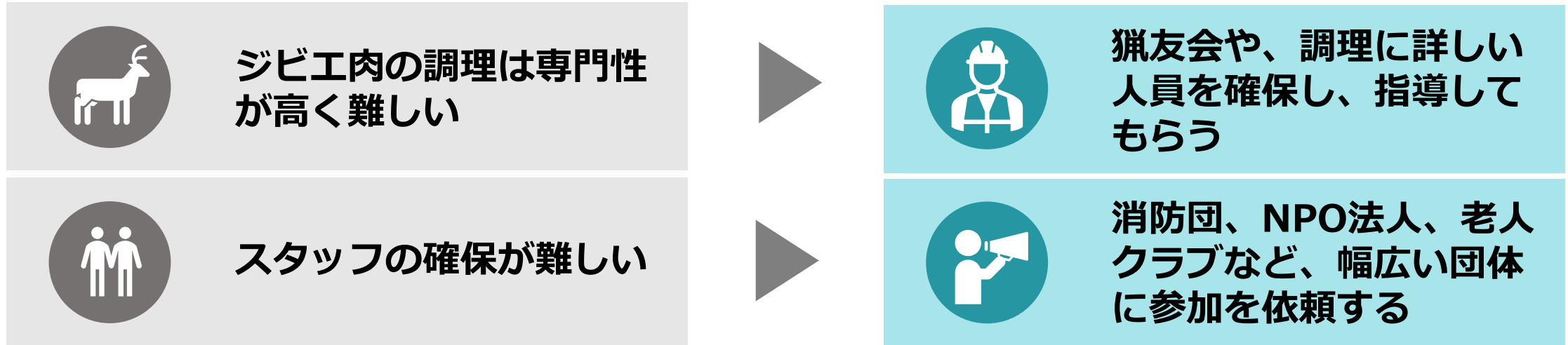
ジビエ肉の調理



炊き出し



課題と解決方法 【神坂まちづくり協議会】



✓ 次年度以降の改善点

- ・ 学校や各種団体と連携し、参加者やスタッフの公募を早期に行い、早い段階から参加者の総数を把握できるようにする。
- ・ 防災農園の維持管理に関わるスタッフの増員を図る。具体的には、防災農園を舞台に、親子などで家庭菜園を学べる取組を行い、関わる人を増やしていく。
- ・ 避難所の片付けの際には、全員を集めて正しいテントの畳み方や段ボールベッドの仕舞い方を皆で覚えてから取り掛かることで、効率的に運営できるようにする。

採択団体の訓練概要 【大八まちづくり協議会】事業費997,053円



訓練のポイント

【事業名】

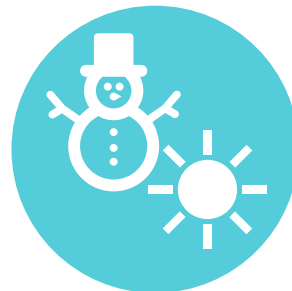
シナリオのない防災訓練+α 

以前から防災活動等に取り組んできた大八まちづくり協議会が中心となり、その他の地区と協働しながら防災訓練を行うことで、相互に知識や経験の共有が図られた。



1. 楽しく参加できる

防災すごろく、防災カルタ、クイズ、体験型ブース等の楽しい要素を多く取り入れる。



2. 季節の特色を踏まえる

夏季は熱中症対策、冬季は雪上避難を想定する。



3. 子どもと高齢者を含む多くの住民が参加

子どもが制作や運営に関わる場面を設ける。



4. 市町村と自治会の連携

学校、消防団、行政が役割分担のもと、訓練に積極的に参加する。

採択団体の訓練概要 【大八まちづくり協議会】



「夏の防災縁日」 令和7年8月7日（木）

- **参加者**

92人（子ども56人、高齢者17人）

- **訓練の具体的内容（例）**

- ✓ **防災すごろく**

すごろくのコマを防災に関するものにするにより、防災について考えながらすごろくを楽しめる。

- ✓ **暗闇大作戦**

好きなあかりをひとつ選び、真っ暗な空間を歩くことで、停電時のあかりの必要性を考える。

- ✓ **防災輪投げ**

防災グッズを景品とした輪投げを行う。

採択団体の訓練概要 【大八まちづくり協議会】

✓ 「リアル地震被害想定総合訓練」 令和7年9月7日（日）

● 参加者

会場参加394人（子ども83人、高齢者103人）、ICT安否確認訓練455人

● 訓練の具体的内容（例）

✓ 避難所設営

オリジナルアクションシートを使った設営訓練

✓ トイレ凝固剤の使い方説明

防災クラブの小学生による使い方の説明と体験を実施する。

✓ 小中学生の作った地震被害模型の体験

防災クラブの小中学生の有志により、実際の地震の被害を想定した体験コーナーを作成

✓ ICTを活用した安否確認

電子回覧板「結ネット」を使った安否確認

採択団体の訓練概要 【大八まちづくり協議会】

✓ 「避難所設営訓練とパッククッキング体験」 令和7年11月9日（日）

- 参加者

81人（子ども0人、高齢者28人）

- 訓練の具体的内容（例）

- ✓ 避難所設営訓練

参加者自らが避難所の配置を検討し、ダンボールベッドやパーテーションなどの設営を行う。

- ✓ パッククッキング体験

災害時に停電があった時の自宅での食事として、パッククッキングの体験を実施する。

採択団体の訓練概要 【大八まちづくり協議会】



「火山避難所体験TKB」令和7年11月19日（水）

- **参加者**

186人（子ども52人、高齢者23人）

- **訓練の具体的内容（例）**

- ✓ **防災クイズ（火山編）**

活火山が近くにあることを考慮し、火山に関する防災クイズを実施する。

- ✓ **防災すごろく（火山編）**

すごろくのコマについて、火山に関する要素を入れることで、地域特有の災害に対する理解を深める。

- ✓ **避難所設営訓練**

参加者自らが避難所の配置を検討し、ダンボールベッドやパーテーションなどの設営を行う。

採択団体の訓練概要 【大八まちづくり協議会】



「雪上大型カルタ」 令和8年2月1日（日）

- **参加者**

61人（子ども27人、高齢者13人）

- **訓練の具体的内容（例）**

- ✓ **雪上大型カルタ大会**

A3サイズの札で、防災にまつわる内容を小学生が考えて制作し、雪上に札を広げてカルタ大会を実施する。

- ✓ **冬季の車中避難に関する注意事項の確認**

雪が多い地域であることを考慮し、雪でマフラーが埋まると一酸化炭素中毒の危険性があることなどを参加者で確認する。

採択団体の訓練概要 【大八まちづくり協議会】



「冬の避難所体験」 令和8年2月15日（日）

- **参加者**

94人（子ども16人、高齢者28人）

- **訓練の具体的内容（例）**

- ✓ **避難所での食事体験**

避難所での食事と炊き出し支援の受け入れ体験を実施する。

- ✓ **避難所設営**

オリジナルアクションシートを使った設営訓練を実施する。

- ✓ **大型カルタ大会**

A3サイズの札で、防災にまつわる内容を小学生が考えて制作し、カルタ大会を実施する。

訓練写真【大八まちづくり協議会】

防災すごろく



暗闇大作戦



地震被害模型体験



パッククッキング



訓練写真【大八まちづくり協議会】

防災クイズ（火山編）

火山防災クイズ

<p>1. 火山灰への対策として、正しくないものはどれ？</p> <p>① できるだけ外出を控える ② 防護マスクの着用 ③ コンタクトレンズの使用</p>	<p>4. 噴火に遭遇した場合の行動として、正しくないものはどれ？</p> <p>① 防護マスクやヘルメットを着用する ② 傾斜が急なために写像を撮る ③ 火山から遠ざかり、安全な場所に避難する</p>	<p>7. 噴火とはどんな現象？</p> <p>① 山から火事が出る ② 山から煙や火山灰が噴出される ③ 山から溶岩が流れ出る</p>	<p>8. 火山地域の災害予測地図の名前は？</p> <p>① 火山防災マップ ② 火山情報マップ ③ 防災情報マップ</p>
<p>2. 火山灰による健康被害について、正しいものはどれ？</p> <p>① 虫歯 ② ぜんそく ③ 花粉症</p>	<p>5. 噴火警戒レベルで、一番危険なのはどれ？</p> <p>① 避難 ② 避難準備 ③ 入山規制</p>	<p>6. 火山ガスが発生したときの行動として、正しくないものはどれ？</p> <p>① 避難場所へ行く ② 防護マスクをつける ③ 深呼吸をする</p>	<p>9. 大きな噴火が起こったとき、すぐに家に帰れるでしょうか？</p> <p>① 数時間かかるともあれば ② 何カ月も家に帰れないこともある ③ 1日で帰れる</p>
<p>3. 火砕流の速度はどのくらい？</p>	<p>6. 日本の活火山の数は？</p>	<p>9. 5000年前に噴火の記録があるが、いまも活動している火山の数は？</p>	<p>10. 火山灰が水にぬれるとどうなるでしょう？</p>

雪上大型カルタ大会



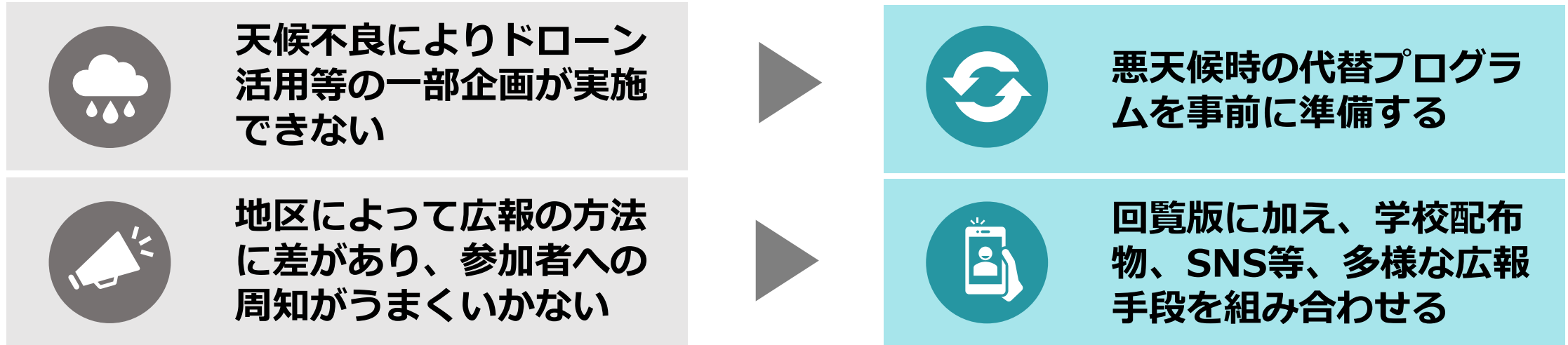
炊き出し（支援受援）体験



避難所設営訓練



課題と解決方法 【大八まちづくり協議会】



✓ 次年度以降の改善点

イベント色の強い地区では、楽しさ維持しながら訓練要素を段階的に強化し、より実践的な訓練にするために、現地参加者とICT参加者を連動させて仕組みを構築する。

採択団体の訓練概要 【華陽自治会連合会】事業費 1,035,312円



訓練のポイント

【事業名】

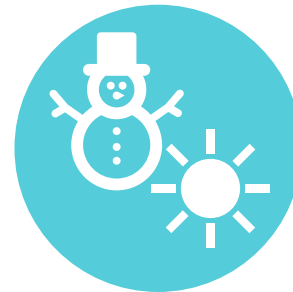
令和7年度華陽地域防災訓練

年間を通じて防災に関する訓練を様々な形で行うことにより、あらゆる年齢層の住民が防災への関心を高め、災害時に的確に対応ができるようになることを目的として訓練を実施した。



1. 楽しく参加できる

防災ポスターの作成や、ジュニア防災キャンプ、カレー作り等楽しめるイベントを実施する。



2. 季節の特色を踏まえる

夏季は熱中症対策、冬季は寒さ対策を考慮した宿泊型訓練を実施する。



3. 子どもと高齢者を含む多くの住民が参加

子ども向けのイベント、子どもから高齢者向けのイベントなど、ターゲットごとにイベントを複数回実施する。



4. 市町村と自治会の連携

物品の調達先や訓練の計画等に関して、市の職員から積極的なアドバイスや情報をもらう。

採択団体の訓練概要 【華陽自治会連合会】

✓ 「防災ポスターの作成」 令和7年7月22日、(火) 24日(木)、30日(日)

- 参加者

25人（子ども14人、高齢者1人）

- 訓練の具体的内容（例）

- ✓ 防災ポスターの作成

ポスター作成の前に、地震に関するビデオや防災図書を読むことにより、これから作成するポスターの「防災」のイメージをつかむ。その後、デザインに関する講師からポスター作成時の注意事項や、コツを教えてもらい、ポスターの作製を通じて防災について考える機会にする。

採択団体の訓練概要 【華陽自治会連合会】

✓ 「夏のジュニア防災キャンプ」 令和7年8月21日（木）、22日（金）

- 参加者

52人（子ども45人、高齢者5人）

- 訓練の具体的内容（例）

- ✓ 公民館での宿泊体験

夏季の暑い時期の公民館で、実際に宿泊体験を行い、12月に実施される冬の避難所訓練を想定して過ごし方を考える。

- ✓ 災害時の自分の役割に関する意見交換

災害時における避難所での中高生の役割について、何ができるのかを考え、周りとの意見交換を実施することで考えを深める。

採択団体の訓練概要 【華陽自治会連合会】



「小中合同防災訓練教室」 令和7年9月6日（土）

- 参加者

445人（子ども388人、高齢者8人）

- 訓練の具体的内容（例）

- ✓ 学年ごとのテーマ別訓練

小学1年生から中学3年生まで、それぞれの学年に応じた内容の訓練を行うことで、より効果的にレベルに合った訓練を実施する。

- ・小学1年生：起振車の体験、煙体験
- ・小学2年生：公衆電話の使い方
- ・小学3年生：もやいむすび
- ・小学4年生：ローリングストック
- ・小学5年生：家庭内DIG
- ・小学6年生：応急処置（軽傷の対応）
- ・中学1年生：避難所設営
- ・中学2年生：学校内DIG
- ・中学3年生：HUG

採択団体の訓練概要 【華陽自治会連合会】



「地域防災訓練宿泊型」 令和7年12月6日（土）、7日（日）

- **参加者**
243人（子ども52人、高齢者53人）
- **訓練の具体的内容（例）**
 - ✓ **ひなんじょサバイバル（防災カードゲーム）の体験**
ゲーム形式で防災に関する知識を楽しく学ぶ。
 - ✓ **炊き出し**
はそりを用いて炊き出しを行い、手順や作れる食数を実際に確認する。
 - ✓ **宿泊体験**
実際に冬季の体育館に宿泊することで、寒さの対策に何が必要かを考える。
 - ✓ **防災食の試食会**
アルファ化米を実際に食べてみる。

訓練写真【華陽自治会連合会】

防災ポスターの作成



公衆電話の使い方



煙体験



学校内DIG



訓練写真【華陽自治会連合会】

避難所設営



防災カードゲームの体験



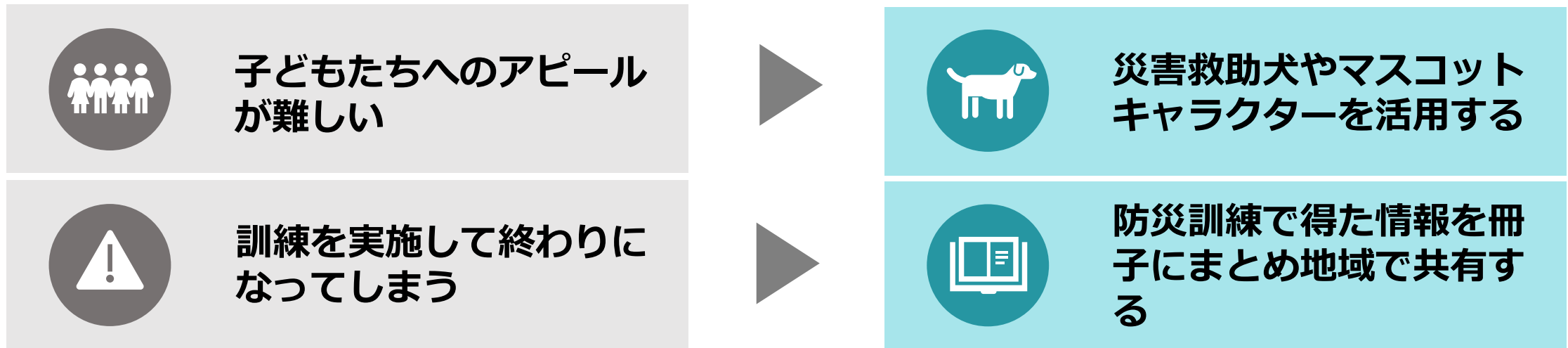
炊き出し



防災食の試食会



課題と解決方法 【華陽自治会連合会】



✓ 次年度以降の改善点

- ・若年層の参加者を増やすためにも、小中学校との連携をより深め、学生がより協力・参加しやすい仕組みを作る必要がある。
- ・広報について、チラシを作成する際に子どもが関心を持つ内容（マスコットキャラクターの来場やゲームの実施等）を目立つように記載し、イベントの目的やイメージをい伝わりやすくする。

採択団体の訓練概要 【地縁法人上村区】 事業費 290,184円



訓練のポイント

【事業名】

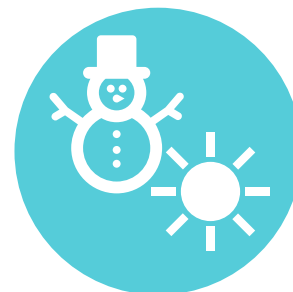
「知る区ロードウォーキング」

区内を歩いて巡りながら、過去に発生した災害個所や防災倉庫にある防災資機材の確認・用途などを学ぶ機会としながら、併せて区内の歴史や文化を知る機会とした。



1. 楽しく参加できる

地元そば打ち団体によるそばの振る舞いや、防火服の試着などみんなが楽しめるイベントを実施する。



2. 季節の特色を踏まえる

6月の出水期に実施することで、用水路の危険等をリアルに感じてもらおう。



3. 子どもと高齢者を含む多くの住民が参加

幅広い年齢層の区民が楽しめるように、多種多様なイベントを実施する。



4. 市町村と自治会の連携

上村区を取組を市が他の自治会に周知する。

採択団体の訓練概要 【地縁法人上村区】



「知る区ロードウォーキング」 令和7年6月8日（日）

- 参加者

75人（子ども22人、高齢者38人）

- 訓練の具体的内容（例）

- ✓ 知る区ロードウォーキング

過去に発生した災害箇所、災害への備え（砂防堰堤・治山堰堤・火災時の水利確保・基幹用水による水量調整等）や防災倉庫にある防災資機材の確認・用途などを学ぶ機会としながら、併せて、区内の歴史や文化を知る機会ともし、子供から高齢者までが参加できる健康ウォークとしても実施する。

採択団体の訓練概要【地縁法人上村区】



「下呂市総合防災訓練」 令和7年9月7日（日）

- **参加者**

686人（子ども131人、高齢者254人）

- **訓練の具体的内容（例）**

- ✓ **中学生によるHUG訓練**

中学生を4つのグループに分け、各グループに防災士1人を配置し実施する。

- ✓ **アルファ化米の作り方体験**

小学生が実際にアルファ化米の作り方を体験する。

- ✓ **防災資機材の活用訓練**

消防団、防災士の指導の下、発電機、拡声器、投光器などの試運転を行う。

訓練写真【地縁法人上村区】

知る区ロードウォーキング



中学生によるHUG訓練



アルファ化米の作り方体験



防災資機材の活用訓練



課題と解決方法【地縁法人上村区】



ウォーキング時の歩行の
安全性の確保



安全管理が可能な人数を
把握し、人数制限や安全
なコースを選定する



小学生の防災力の向上



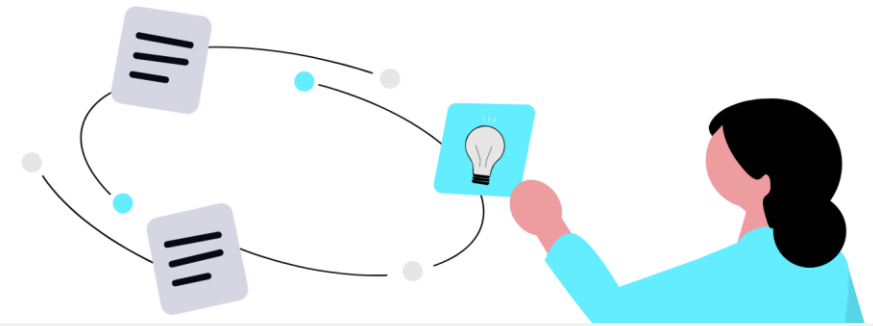
小学生も炊き出しに参加
し、助ける側になれる自
覚をしてもらう



次年度以降の改善点

- ・知る区ロードウォーキングについて、子どもの数が減っていく中で、子どもの参加を促す施策が必要になる。
- ・コースについても毎年同じため、コースを新たに設定するなど飽きない工夫が必要になる。

防災訓練のポイント【全体総括】



楽しく参加できる防災訓練

多くの住民が楽しく参加できる防災訓練を実施することで、地域の交流やネットワークの構築につながっていき、ひいては地域の防災力の向上につながります。

01 楽しく参加できる

- ✓ 子どもが楽しいと思える企画を防災クラブの子どもと連携して考える。(御嵩町)
- ✓ 防災すごろく、防災カルタ、クイズ、体験型ブース等の楽しい要素を多く取り入れる。(大八まちづくり協議会)
- ✓ 薪割や野菜の収穫体験などレジャーとして楽しめる体験を盛り込む。(神坂まちづくり協議会)

02 季節の特色

- ✓ 冬の熱源の確保としてロケットストーブを作成する。(御嵩町)
- ✓ 出水期に街を歩く訓練を行うことで、用水路等の危険性をより実感できる。(地縁法人上村区)
- ✓ 夏季は熱中症対策、冬季は寒さ対策を考慮した宿泊型訓練を実施する。(華陽自治会連合会)

03 多くの住民の参加

- ✓ 親子で参加できる競技や、中学生ボランティアに協力してもらう。(竹鼻町自治会)
- ✓ 小中学生が楽しめる体験や、老人クラブの人が指導者になれる体験を企画する。(神坂まちづくり協議会)
- ✓ 子どもが制作や運営に関わる場面を設ける。(大八まちづくり協議会)

防災訓練のポイント【全体総括】

04 市町村と自治会の連携

- ✓ 区の取組みを、市が他の自治会に周知する。（地縁法人上村区）
- ✓ 物品の調達先や訓練の計画等に関して市の職員からアドバイスや情報をもらう。（華陽自治会連合会）
- ✓ 準備や当日の運営、事前の会議に市の職員が参加する。（竹鼻町自治会）

05 他の地域で実現できる

- ✓ イベント内容や規模を調整することで、事業費等に応じて実施できる。（御嵩町）
- ✓ 体験型訓練と教材を工夫し、再現性を高めることで、横展開が可能となる。（大八まちづくり協議会）
- ✓ 農地や里山が近くにある地域であれば、模倣しやすい。（神坂まちづくり協議会）

06 継続性、発展性

- ✓ 他の地区と協働しながら防災訓練を行うことで、相互に知識や経験を共有し、各地区の負担軽減にもつながる。（大八まちづくり協議会）
- ✓ 1～2年で交代する区長に対して、事前の会議で丁寧な説明を行う。（竹鼻町自治会）

